

持続可能な社会への取り組み

点検の不動産利活用

一般財団法人日本不動産研究所

第25回

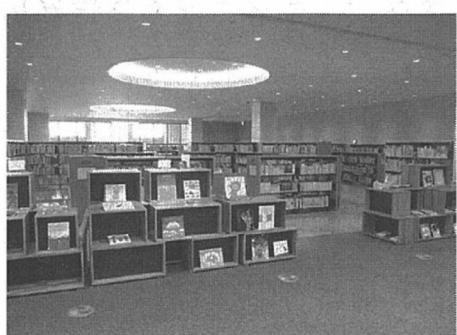
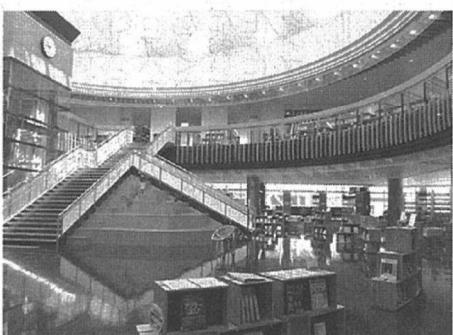
き制度の廃止（市街化調整区域の指定解除）などにより、市の郊外部や隣接町に住宅地域が外延的な広がりを見せたこと、また、モータリゼーションの高まりから大型商業施設の郊外立地が進んだことから、結果的に中心市街地のスプロール化を招き、中心市街地に

上：都城市立図書館のエントランスホールと下：「こどものほん」スペース

平成30年4月、都城市の中 心市街地に立地していた旧ショッピングモールをリノベーションするなどの手法で開館した公共施設Mall mall（まるまる）は、開館から1年間で施設全体の来館者数が200万人を突破し、その波及効果もあって中心市街地への来街者数が増加。平成30年度には中心市街地に23件が新規出店するなど、中心市街地全体の活性化に寄与したことなどが評価され、令和元年5月、コンパクトなまちづくり推進協議会と一般財団法人都市みらい推進機構が主

官民連携で来街者の回復を進める

宮崎県都城市



グッドデザイン賞も
成されている。

新たな図書館をまちづくりの中心に

このうえ、旧来の都城市立図書館（昭和46年10月開館）の移設計画に基づき設置され

市内に本社を置く霧島酒造株式会社が焼酎売り上げで日本一を誇る。更に市内で盛んな農業や農業加工業を生かした返礼品が人気を博し、「ふるさと納税」で平成27年度から2年連続で寄付金額・寄付件数共に日本一となって全国的に注目を集めた。

都城市の中心市街地は、かつて宮崎県南西部や鹿児島県大隅地方の一部エリアにとって中心核としての役割を有し、国道10号沿いに形成されたアーケード街には複数の大

型商業施設が立地していた。

しかし、都市計画法上の線引

立地していた大型商業施設は、平成23年1月までにすべて閉店した。

にぎわいの創出へ

このうえ、旧来の都城市立図書館（昭和46年10月開館）の移設計画に基づき設置され

た図書館は、旧ショッピングモールをリノベーションして様々な意見を基に計画・整備が進められた。

計画に基づき平成30年4月に開業した公共施設Mall mallは、既存ストックで

した大型商業施設の土地および建物を活用し、官民が連携して公共・民間それぞれの施設や機能を集約整備することによって来街者数の回復を図ると共に、まちなかにぎわいを創出することを目指すこととした。具体的には、市民との合意形成やニーズの充足を図るために、市や都城商工会議所が

西村哲治

Mall mall外観

